

令和 6 年度事業報告

保健医療部健康づくり課

目 次

I 保健政策係

1 健康づくり推進事業

(1) 普及啓発事業

ア みとちゃん健康マイレージ	1
イ みと健康川柳	1
ウ 健康づくりガイドブック・みと	1
エ いばらきヘルスロード	1

2 受動喫煙対策

(1) 喫煙可能室設置施設届出	3
(2) 通報対応	3

3 難病相談支援

(1) 相談事業	4
(2) 難病医療講演会	4
(3) 水戸保健医療圏 難病対策協議会	4
(4) 在宅難病患者一時入院事業	5
(5) 人工呼吸器装着患者支援事業	5
(6) 在宅レスパイト事業	5

II 健康増進係

1 健康増進事業

(1) 健康教育（集団健康教育）	6
(2) 保健相談	7
(3) 健康相談	8
(4) 健康手帳の交付	9
(5) 健康診査・がん検診等	10
(6) がん検診推進事業	22
(7) 訪問指導	23
(8) 腎臓を守ろう！みとネットワーク事業	24

2 国保保健事業関係

(1) 健康診査（特定健康診査・後期高齢者健康診査・人間ドック）	26
(2) 特定保健指導	27
(3) その他の保健事業	28

3 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施

- (1) ハイリスクアプローチ 30

4 寄附講座開設における地域保健事業

- (1) 健康相談 32
- (2) 健康教室 32
- (3) 出張講座 33
- (4) 健康調査 33

5 地区組織活動

- (1) 保健推進員活動 34
- (2) 食生活改善推進員活動 35

6 特定給食施設関係

- (1) 特定給食施設, その他給食施設 36
- (2) 特定給食施設開始届及び廃止届 36
- (3) 特定給食施設状況報告書 36

7 食品表示

- (1) 食品表示 37
- (2) 虚偽誇大広告 37

III 精神保健相談係

1 精神保健支援事業

- (1) こころの健康相談 38
- (2) 精神保健相談 38

2 ひきこもり支援推進事業

- (1) ひきこもり専門相談 38
- (2) ひきこもり家族教室 39
- (3) C R A F T 教室(ひきこもりの家族支援プログラム) 39
- (4) ひきこもり居場所 39

3 自殺対策事業

- (1) こころの健康相談
 - ア 公認心理師 40
 - イ 精神保健福祉士 40
- (2) ゲートキーパー養成研修 40

I 保健政策係

1 健康づくり推進事業

(1) 普及啓発事業

ア みとちゃん健康マイレージ

<目的>

市民自ら健康目標を立て日々実行し、目標達成して応募すると、市内の企業団体から提供された特典が受けられる仕組みづくりをすることにより、楽しく健康意識を高め、主体的な健康づくりへの動機づけの促進を図る。

<実績>

区分	応募者数	当選者数	協賛企業団体数
6年度	2,412 人	391 人	40 団体
5年度	1,504 人	318 人	44 団体

イ みと健康川柳

<目的>

健康意識の向上と健康増進を図る。

(水戸ヤクルト販売株式会社との包括連携協定事業)

<実績>

区分	応募テーマ	応募句数	応募者数	入選作品数
6年度	健康	461 句	192 人	8 句
5年度	健康	632 句	354 人	8 句

ウ 健康づくりガイドブック・みと

<目的>

市民へ健康情報の提供を図るとともに、健康づくり課が行う各種健康診査や健康教室、予防接種等保健事業の周知及び啓発を図る。

<作成部数>

90,000 部（令和 7 年度版）

エ いばらきヘルスロード

<目的>

健康づくりのためウォーキングの習慣化を支援し、市民の主体的な健康づくりを推進する。

<内容>

子どもから高齢者まで、また、障害がある人も歩けるように安全に配置された茨城県指定のウォーキングコースである「いばらきヘルスロード」のなかで、市内の指定コースについて市民への周知を図る。

<水戸市の指定コース>

次ページ表のとおり

1. 千波公園コース(H14)	36. 東部文化公園周回コース (H26)
2. 水戸城跡周辺コース(H14)	37. 駅南中央通りコース (H26)
3. 茨城県庁コース(H14)	38. 水戸駅南口～さくら通りコース (H26)
4. 逆川緑地公園コース(H17)	39. 荒谷一本松コース (H26)
5. 大塚池公園コース(H17)	40. ツインフィールドからバイパス側道コース (H26)
6. 堀原運動公園コース(H17)	41. ケーズデンキスタジアム水戸から佐川文庫までの自然観察コース(H26)
7. 内原ロマンコース(H18)	42. 河和田住宅団地から眺望コース (H26)
8. 大串貝塚ふれあい公園コース(H19)	43. 赤塚駅近辺コースをつなぐ (H26)
9. 水戸東照宮・芸術館まちなか散策コース(H20)	44. 国道 50 号バイパス西部(H27)
10. 水戸野鳥道しるべウォーキングロード(H20)	45. 国道 50 号バイパス東部(H27)
11. 桜川緑地公園コース(H20)	46. 御茶園通りと好文橋通り(H27)
12. 西部図書館外周コース(H21)	47. 住吉町・酒門町の斜め道(H27)
13. 那珂川遠望と季節の風を楽しむコース(H21)	48. くれふしの里古墳公園から水戸加倉井(H27)
14. 桜川・備前堀コース(H21)	49. 大洗町からダイダラボウ(H27)
15. 河和田ツインフィールドコース(H21)	50. 芸術館通りと大町通り(H28)
16. 水戸市総合運動公園コース(H22)	51. 大町通りと北見町通り(H28)
17. 水戸大通りコース(H22)	52. 好文橋通り(H28)
18. 赤塚駅南口ヘルスロードコース(H23)	53. さくら通り米沢町～東野町コース(H28)
19. 赤塚駅西遊歩道コース(H23)	54. 千波湖西の桜川(H28)
20. 寿橋・水府橋を渡る那珂川コース(H23)	55. 桜川散策路・那珂川堤防コース(H28)
21. アナハイム通りコース(H23)	56. けやき台から追鳥狩本陣跡コース(H28)
22. 市営河和田団地西コース(H24)	57. 双葉台公園と遊歩道(H28)
23. 常澄駅北(H24)	58. 内原ヘルスパーク西側コース(H28)
24. 東水戸駅北(H24)	59. 内原ヘルスパーク東側コース(H28)
25. ケーズデンキスタジアム水戸, 小吹水源池公園コース(H24)	60. 吉田神社西コース(H29)
26. 水戸市植物公園田園風景コース(H24)	61. 水戸保健所～さくら通りコース(H29)
27. 画聖大観・角聖常陸山生誕地コース(H24)	62. 鷲神社コース(H29)
28. ふれあいロード5・6・7(H24)	63. 歴史館通り(H29)
29. ハミングロード5 1 3(H24)	64. 水戸商業高校外周(H29)
30. 赤塚駅南中央通り(H25)	65. ふたば並木通り(H29)
31. 赤塚駅北口コース(H25)	66. 備前堀と下市の神社・稲荷めぐり散歩(ソフトコース)(H29)
32. 県庁南大通りコース(H25)	67. 備前堀と下市の神社・稲荷めぐり散歩(ハードコース)(H29)
33. 水戸市総合運動公園外周と歩行者専用道路コース(H25)	68. 上中妻市民センターコース (H30)
34. 水戸市総合運動公園軟式野球コース(H25)	69. 水戸市道渡里 296 号線 (R1)
35. けやき台の四季とふれあいコース (H26)	70. 茨城大学外周コース (R2)

※ () 内は指定年度

2 受動喫煙対策

望まない受動喫煙が生じないように、受動喫煙に関する知識の普及、受動喫煙の防止に関する意識の啓発、受動喫煙の防止に必要な環境の整備その他の受動喫煙を防止するための措置を推進する。

(1) 喫煙可能室設置施設届出

＜内容＞

健康増進法に基づき、喫煙可能を希望する小規模既存飲食店からの届出を受理する。

＜実績＞

区分	届出件数
6年度	0件
5年度	1件

届出件数 累計 (令和2年度～)
135件

(2) 通報対応

＜内容＞

健康増進法に基づき、受動喫煙に関する市民からの通報を受け、状況確認、現地での指導等を実施する。

＜実績＞

区分	喫煙禁止 場所における 喫煙	喫煙器具・ 設備等の設置	紛らわしい 標識の掲示・ 標識の汚染等	20歳未満の者 を喫煙室に 立ち入らせる	その他	合計
6年度	0件	1件	0件	0件	8件	9件
5年度	1件	0件	0件	0件	3件	4件

3 難病相談支援

(1) 相談事業

<目的>

要支援難病患者やその家族が抱える日常生活上及び療養上の悩みに対する個別の相談, 指導, 助言を行う。必要に応じて訪問を実施する。

<内容>

面接や電話, 訪問による相談

<担当者>

保健師等

<実績>

区分	面接及び電話		訪問		計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
6年度	18人	18人	1人	1人	19人	19人
5年度	8人	8人	5人	5人	13人	13人

(2) 難病医療講演会（中央保健所, 潮来保健所と合同開催）

<目的>

難病患者やその家族の療養上の不安の解消を図る。

<内容>

茨城県難病相談支援センターと共催で, 難病に関する専門の医師等による講演会を開催する。医師等による個別相談や患者会の協力等を得て, ピア相談及び交流会等と併せて行う。

<実績>

区分	実施回数	参加者数	テーマ
6年度	1回	52人	多系統萎縮症、脊髄小脳変性症
5年度	1回	49人	下垂体機能低下症

(3) 水戸保健医療圏 難病対策協議会（中央保健所と共同運営）

<目的>

医療機関, 訪問看護ステーション, 市町村等難病患者に関わる関係機関の相互連携を強化し, 地域課題の検討や体制整備を図る。

<内容>

地域における難病患者への支援体制に関する課題について情報を共有し, 地域の実情に応じた体制の整備について協議を行う（原則年1回開催）。

(4) 在宅難病患者一時入院事業（県からの委託事業）

<目的>

在宅の難病患者が、家族等の介護者の病気治療や休息（レスパイト）等の理由により、一時的に在宅で介護等を受けることが困難になった場合に一時入院することができることが可能な病床を確保することにより、当該患者の安定した療養生活の確保と介護者の福祉の向上を図る。

<内容>

申請受付、調整及び県からの決定について本人へ通知

<実績>

区分	受付件数
6年度	8件
5年度	5件

(5) 人工呼吸器装着患者支援事業（県からの委託事業）

<目的>

人工呼吸器を装着していることについて特別の配慮を必要とする難病の患者に対して、在宅において適切な医療の確保を図る。

<内容>

申請受付、県からの決定について本人及び訪問看護ステーションへ通知

<実績>

区分	受付件数
6年度	1件
5年度	1件

(6) 在宅レスパイト事業（県からの委託事業）

<目的>

在宅で療養する難病患者が、家族等の介護者の休息（レスパイト）等の理由により、一時的に在宅で介護等を受けることが困難になり、病状等の理由により移送が困難な場合など一時入院が難しい場合に、患者宅に看護人を派遣することにより、患者の安定した療養生活の確保とその介護者の福祉の向上を図る。

<内容>

申請受付、調整及び県からの決定について本人へ通知

<実績>

区分	受付件数
6年度	申請なし
5年度	申請なし

Ⅱ 健康増進係

1 健康増進事業

(1) 健康教育（集団健康教育）

<目的>

生活習慣病の予防、健康増進等に関する正しい知識の普及を行うことにより、「自分の健康は自分で守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進を図る。

<対象者等>

区分	生活習慣病予防教室	腎臓病予防教室
対象者	①HbA1c が要観察の方 ②医師による運動制限がない方 ③その他、生活習慣病予防について関心のある方	①特定健康診査の結果で、eGFR が要指導の方 ②腎臓病に関心のある方
内 容	講話、運動実技	腎臓病予防についての講話
担当者	保健師、スポーツインストラクター	医師、保健師、管理栄養士
会 場	市役所	市民会館
区分	特定健診時指導	COPD予防教育
対象者	特定健康診査（集団）受診者のうち40～74歳の国保加入者	特定健康診査（集団）受診者のうち40～74歳の国保加入者
内 容	メタボリックシンドローム・生活習慣病予防についての指導	COPD（慢性閉塞性肺疾患）についての健康教育
担当者	管理栄養士、保健師	管理栄養士、保健師
会 場	特定健康診査（集団）実施会場	特定健康診査（集団）実施会場
区分	市民公開講座（オーラルフレイル予防）	歯周病予防教室
対象者	市民	市民
内 容	口腔の健康に関する講話	講話、だ液の検査等
担当者	歯科医師等	歯科医師、歯科衛生士
会 場	市民会館	保健所
区分	いきいき出前講座	市民公開講座（CKD予防）
対象者	市民（10人以上の団体・グループ）	市民
内 容	生活習慣病の予防について（講話）	CKD予防に関する講話
担当者	保健師等	腎専門医、管理栄養士等
会 場	市民センター等	内原イオン
区分	母子保健活動時等に行う健康教育	
対象者	市民（他課の事業の参加者）	
内 容	健康に関する講話等	
担当者	保健師等	
会 場	常澄保健センター、内原保健センター	

<実績>

区分	生活習慣病 予防教室	腎臓病 予防教室	特定健診時 指導	COPD 予防教育	市民公開講座 (オーラルフレイル予防)
6年度	2回	1回	66回	66回	1回
	37人	163人	5,257人	5,257人	210人
5年度	1回	1回	62回	62回	1回
	28人	162人	5,134人	5,134人	204人
区分	歯周病 予防教室	いきいき 出前講座	市民公開講座 (CKD予防)	母子保健活動時 等を行う 健康教育	
6年度	2回	2回	1回	24回	
	33人	58人	300人	246人	
5年度	2回	1回	1回	46回	
	29人	20人	300人	719人	

(2) 保健相談

<目的>

本人や家族の健康問題で悩んでいる方に対し、幅広く健康問題に対応できるよう関係機関との連携を図りながら相談、支援を行う。

<内容>

面接や専用電話による相談

<担当者>

保健師

<実績>

区分	妊産婦	乳幼児	学童・ 思春期	精神 障害	難病	病態別	歯周 疾患	介護	総合	合計
6年度	0件	2件	3件	11件	0件	3件	0件	1件	36件	56件
5年度	0件	0件	2件	10件	4件	17件	0件	0件	32件	65件

(3) 健康相談

<目的>

身体の健康に関する個別の相談に応じて必要な助言・指導を行い、健康管理に資する。

<対象者>

市民

<内容>

区分	内容
成人健康相談	保健指導, 栄養指導, 健診事後指導
その他（電話・来所相談）	保健指導, 栄養指導

<担当者>

保健師, 管理栄養士

<会場>

保健所, 常澄保健センター, 内原保健センター

<実績（6年度）>

区 分				成人健康相談			その他 (電話・ 来所相談)	合 計
				健康 相談	健診事後 相談	栄養 相談		
40 歳から 64 歳の相談	重点 健康 相談	高血圧	回数	3 回			3 回	6 回
			人数	0 人	2 人	2 人	3 人	7 人
		脂質異常	回数	11 回			0 回	11 回
			人数	0 人	9 人	9 人	0 人	18 人
		糖尿病	回数	8 回			1 回	9 回
			人数	0 人	5 人	5 人	1 人	11 人
		歯周疾患	回数	0 回			0 回	0 回
			人数	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
		骨粗しょう症	回数	0 回			0 回	0 回
			人数	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
		女性の健康	回数	0 回			4 回	4 回
			人数	0 人	0 人	0 人	4 人	4 人
		病態別	回数	2 回			6 回	8 回
			人数	0 人	1 人	1 人	6 人	8 人
	総合相談	回数	4 回			34 回	38 回	
		人数	2 人	0 人	2 人	34 人	38 人	
65 歳以上の相談 (40 歳未満も含む)			回数	8 回				8 回
			人数	78 人				78 人
合 計			回数	36 回			48 回	84 回
			人数	116 人			48 人	164 人

(4) 健康手帳の交付

<目的>

健康診査の記録，その他健康保持のために必要な事項を記載し，自らの健康管理と適切な医療の確保に資する。

<対象者>

18 歳以上の者

<会場>

保健所，常澄保健センター，内原保健センター

<実績>

区分	18～39歳		40～64歳		65歳以上		計	新規	再交付
	新規	再交付	新規	再交付	新規	再交付			
6 年度	1 件	0 件	27 件	0 件	180 件	0 件	208 件	208 件	0 件
5 年度	4 件	0 件	56 件	0 件	172 件	1 件	233 件	232 件	1 件

(5) 健康診査・がん検診等

<目的>

循環器疾患及びがんなどの疾病を早期に発見し、早期治療を促すために、疾病の疑いをもつ者をスクリーニングするとともに、壮年期からの健康に対する知識と意識の高揚を図る。

<対象者等>

区分		対象者	実施期間等		実施方法
健康増進法に基づく健康診査		40 歳以上の生活保護受給者	6 月～2 月（66回）		集団
			6 月～2 月		個別 （医療機関）
生活習慣病予防健診		健診を受ける機会のない18～39 歳の者	6 月～2 月（66回）		集団
がん検診	肺がん検診 結核健診	40歳以上の者 65歳以上の者	6 月～2 月（66回）		集団
			6 月～2 月		個別 （医療機関）
	胃がん検診	51 歳以上の者	6 月～2 月（13回）		集団
			6 月～2 月		個別 （医療機関）
	大腸がん検診	40 歳以上の者	6 月～2 月（66回）		集団
			6 月～2 月		個別 （医療機関）
	乳がん検診	30 歳以上の女性 ただし、マンモグラフィは 41 歳以上の女性	6 月～2 月	28 回 無料対象者単独 20 回	集団
			6 月～2 月		個別 （医療機関）
	子宮頸がん検診	20 歳以上の女性 医師が必要と認めた方に体部がん検診実施	6 月～2 月		個別 （医療機関）
	前立腺がん検診	50 歳以上の男性	6 月～2 月（66回）		集団
6 月～2 月			個別 （医療機関）		
肝炎ウイルス検診		今年度 40 歳以上で未受診の者	6 月～2 月（66回）		集団
			6 月～2 月		個別 （医療機関）
骨粗しょう症検診		18 歳以上の女性	6 月～2 月（17回）		集団
成人歯科健診		20, 30, 40, 50, 60, 70 歳の者	6 月～2 月		個別 （医療機関）

<実績：健康増進法に基づく健康診査>

区分		健康増進法に基づく健康診査	対象者数の考え方
6年度	対象者数	4,252 人	40 歳以上で生活保護受給者のうち、受診券を発行している市民
	受診者数	220 人	
	集団	73 人	
	個別	147 人	
	受診率	5.2%	
5年度	対象者数	4,223 人	
	受診者数	191 人	
	集団	72 人	
	個別	119 人	
	受診率	4.5%	

<実績（6年度）：健康増進法に基づく健康診査 年齢階層別結果>

区分		40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	計
受診者	集団	23 人	23 人	17 人	10 人	73 人
	個別	22 人	30 人	32 人	63 人	147 人
結果	異常を認めない者	集団	0 人	1 人	0 人	1 人
		個別	2 人	0 人	1 人	5 人
	要指導者	集団	10 人	7 人	6 人	0 人
		個別	5 人	3 人	6 人	4 人
	要観察者	集団	0 人	0 人	0 人	0 人
		個別	8 人	7 人	3 人	6 人
	要精密検査者	集団	13 人	15 人	11 人	10 人
		個別	0 人	0 人	0 人	0 人
	要医療者	集団	0 人	0 人	0 人	0 人
		個別	4 人	9 人	4 人	6 人
	治療中	集団	0 人	0 人	0 人	0 人
		個別	3 人	11 人	18 人	45 人
						77 人

<実績：生活習慣病予防健診>

区分		生活習慣病予防健診	対象者数の考え方
6 年 度	対象者数	7,453 人	39 歳以下で、6 月当初に受診券を 発行した市民
	受診者数	807 人	
	集団	807 人	
	個別		
5 年 度	受診率	10.8%	
	対象者数	13,972 人	
	受診者数	750 人	
	集団	750 人	
	個別		
	受診率	5.4%	

<実績：生活習慣病予防健診 結果>

区分	受診者	異常なし	所見あり	有所見率
6 年度	807 人	186 人	621 人	77.0%
5 年度	750 人	160 人	590 人	78.7%

<実績：肺がん検診 全受診者（保険・年齢問わず）>

区分		肺がん検診		
		エックス線検査	エックス線検査 ＋ 喀痰検査	計
6 年 度	受診者	15,652 人	104 人	15,756 人
	集団	8,535 人	46 人	8,581 人
	個別	7,117 人	58 人	7,175 人
5 年 度	受診者	14,281 人	93 人	14,374 人
	集団	7,669 人	37 人	7,706 人
	個別	6,612 人	56 人	6,668 人

<実績（6年度）：肺がん検診（エックス線検査） 年齢階層別結果>

区分		40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	計	
受診者		集団	1, 162 人	1, 259 人	2, 198 人	3, 962 人	8, 581 人
		個別	315 人	451 人	1, 175 人	5, 234 人	7, 175 人
結果	異常を認めない者	集団	1, 134 人	1, 216 人	2, 084 人	3, 615 人	8, 049 人
		個別	306 人	433 人	1, 104 人	4, 852 人	6, 695 人
	要観察者	集団	21 人	37 人	97 人	280 人	435 人
		個別	2 人	11 人	29 人	191 人	233 人
	要精密検査者	集団	7 人	6 人	17 人	67 人	97 人
		個別	7 人	7 人	42 人	190 人	246 人
	読影不能	集団	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
		個別	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人

※ 喀痰検査受診者のエックス線検査結果を含む。

<実績（6年度）：肺がん検診（喀痰検査） 年齢階層別結果>

区分		50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	計	
受診者		集団	4 人	15 人	27 人	46 人
		個別	3 人	12 人	43 人	58 人
結果	異常を認めない者	集団	4 人	15 人	27 人	46 人
		個別	2 人	10 人	39 人	51 人
	要指導者	集団	0 人	0 人	0 人	0 人
		個別	1 人	1 人	0 人	2 人
	要精密検査者	集団	0 人	0 人	0 人	0 人
		個別	0 人	0 人	0 人	0 人
	検体不良	集団	0 人	0 人	0 人	0 人
		個別	0 人	1 人	4 人	5 人

<実績：胃がん検診 全受診者（保険・年齢問わず）>

区分		胃がん検診				
		エックス線検査	内視鏡検査	内視鏡検査＋リスク検査	計	リスク検査
6年度	受診者	1,067人	1,418人	915人	3,400人	88人
	集団	1,067人			1,067人	
	個別		1,418人	915人	2,333人	88人
5年度	受診者	995人	1,274人	921人	3,190人	103人
	集団	995人			995人	
	個別		1,274人	921人	2,195人	103人

<実績（6年度）：胃がん検診（エックス線検査） 年齢階層別結果>

区分		50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
受診者	集団	205人	369人	493人	1,067人
結果	異常を認めない者	109人	157人	133人	399人
	要観察者	88人	200人	325人	613人
	要精密検査者	8人	12人	35人	55人
	読影不能	0人	0人	0人	0人

<実績（6年度）：胃がん検診（内視鏡検査） 年齢階層別結果>

区分		50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
受診者	個別	590人	464人	1,279人	2,333人
結果	異常を認めない者	440人	232人	416人	1,088人
	要観察者	147人	226人	842人	1,215人
	再検査者（要精検）	2人	5人	13人	20人
	がん	0人	1人	6人	7人
	その他のがん	1人	0人	2人	3人

<実績：大腸がん検診 全受診者（保険・年齢問わず）>

区分		大腸がん
6 年 度	受診者	13,398 人
	集団	7,797 人
	個別	5,601 人
5 年 度	受診者	12,297 人
	集団	6,864 人
	個別	5,433 人

<実績（6年度）：大腸がん検診 年齢階層別結果>

区分		40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	計	
受診者		集団	1,139 人	1,237 人	1,995 人	3,426 人	7,797 人
		個別	287 人	427 人	975 人	3,912 人	5,601 人
結果	異常を認めない者	集団	1,080 人	1,170 人	1,874 人	3,145 人	7,269 人
		個別	269 人	404 人	913 人	3,531 人	5,117 人
	要精密検査者	集団	59 人	67 人	121 人	281 人	528 人
		個別	18 人	23 人	62 人	380 人	483 人
	検体不良	集団	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
		個別	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人

<実績：乳がん検診 全受診者（保険・年齢問わず）>

区分		乳がん検診		
		マンモグラフィ	超音波検査	計
6 年 度	受診者	3,396 人	2,983 人	6,379 人
	集団	1,771 人	1,638 人	3,409 人
	個別	1,625 人	1,345 人	2,970 人
5 年 度	受診者	3,360 人	2,869 人	6,229 人
	集団	1,770 人	1,681 人	3,451 人
	個別	1,590 人	1,188 人	2,778 人

<実績（6年度）：乳がん検診（マンモグラフィ検査） 年齢階層別結果>

区分		40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	計	
受診者		集団	596 人	524 人	352 人	299 人	1,771 人
		個別	406 人	547 人	311 人	361 人	1,625 人
結果	異常を認めない者	集団	571 人	499 人	340 人	288 人	1,698 人
		個別	394 人	521 人	301 人	352 人	1,568 人
	要精密検査者	集団	25 人	25 人	12 人	11 人	73 人
		個別	12 人	26 人	10 人	9 人	57 人

<実績（6年度）：乳がん検診（超音波検査） 年齢階層別結果>

区分		30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～66 歳	計	
受診者		集団	485 人	492 人	400 人	261 人	1,638 人
		個別	244 人	382 人	462 人	257 人	1,345 人
結果	異常を認めない者	集団	480 人	480 人	389 人	259 人	1,608 人
		個別	240 人	365 人	454 人	256 人	1,315 人
	要精密検査者	集団	5 人	12 人	11 人	2 人	30 人
		個別	4 人	17 人	8 人	1 人	30 人
	判定不能	集団	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
		個別	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

<実績：子宮頸がん検診 全受診者（保険・年齢問わず）>

区分		子宮頸がん検診			
		頸部細胞診 + HPV	頸体部細胞診 + HPV	計	超音波検査
6年度	受診者	2,837人	114人	2,951人	892人
5年度	受診者	3,228人	110人	3,338人	985人

<実績（6年度）：子宮頸がん検診（頸部細胞診+HPV） 年齢階層別結果>

区分			20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
受診者		個別	223人	627人	640人	633人	404人	310人	2,837人
結果	異常を認めない者	個別	171人	531人	563人	586人	382人	289人	2,522人
	要経過観察者	個別	38人	74人	55人	36人	20人	18人	241人
	要精密検査者	個別	14人	22人	22人	11人	2人	3人	74人
	判定不能	個別	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

<実績（6年度）：子宮頸がん検診（頸体部細胞診+HPV） 年齢階層別結果>

区分			20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
受診者		個別	2人	7人	31人	50人	19人	5人	114人
結果	異常を認めない者	個別	2人	6人	26人	42人	17人	5人	98人
	要経過観察者	個別	0人	0人	3人	5人	2人	0人	10人
	要精密検査者	個別	0人	1人	2人	3人	0人	0人	6人

<実績（6年度）：子宮頸がん検診（超音波検査） 年齢階層別結果>

区分		20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	計
受診者		69人	85人	270人	218人	250人	892人
結果	異常を認めない者	61人	70人	201人	155人	161人	648人
	要観察	6人	11人	65人	57人	78人	217人
	要治療	2人	1人	0人	3人	7人	13人
	要精密	0人	3人	4人	3人	4人	14人

<実績：前立腺がん検診>

区分		前立腺がん検診	対象者数の考え方
6 年 度	対象者数	58,297 人	50 歳以上の男性（茨城県常住人口調査から算出）
	受診者数	4,162 人	
	集団	2,455 人	
	個別	1,707 人	
	受診率	7.1%	
5 年 度	対象者数	57,627 人	
	受診者数	3,697 人	
	集団	2,163 人	
	個別	1,534 人	
	受診率	6.4%	

<実績（6年度）：前立腺がん検診 年齢階層別結果>

区分		50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	計	
受診者		集団	405 人	722 人	1,328 人	2,455 人
		個別	112 人	307 人	1,288 人	1,707 人
結果	異常を認めない者	集団	390 人	670 人	1,233 人	2,293 人
		個別	109 人	288 人	1,139 人	1,536 人
	要精密検査者	集団	15 人	52 人	95 人	162 人
		個別	3 人	19 人	149 人 (うち1人検査不能)	171 人

<実績：肝炎ウイルス検診>

区分		肝炎ウイルス検診	対象者数の考え方
6 年度	受診者数	1,019 人	年度内で 41 歳，46 歳，51 歳， 56 歳，61 歳になる市民で，当 検診が未受診の者
		626 人	
		393 人	
	対象者数	18,408 人	
		481 人	
		366 人	
	集団	115 人	
		2.6%	
5 年度	受診者数	937 人	
		600 人	
		337 人	
	対象者数	17,877 人	
		424 人	
		314 人	
	集団	110 人	
		2.4%	

<実績（6年度）：肝炎ウイルス検診 結果>

区分		C型肝炎	B型肝炎
受診者	集団	625 人	626 人
	個別	391 人	393 人
結果	陽性	1 人	2 人
		1 人	0 人
	陰性	624 人	624 人
		390 人	393 人

<実績：骨粗しょう症検診>

区分		骨粗しょう症検診	対象者数の考え方
6 年 度	対象者数	114,275 人	18 歳以上の女性（茨城県常住人口調査から算出）
	受診者数	1,749 人	
	集団	1,749 人	
	個別		
	受診率	1.5%	
5 年 度	対象者数	114,606 人	
	受診者数	1,523 人	
	集団	1,523 人	
	個別		
	受診率	1.3%	

<実績：骨粗しょう症検診 結果>

区分	受診者	異常なし	所見あり	有所見率
6 年度	1,749 人	821 人	928 人	53.1%
5 年度	1,523 人	776 人	747 人	49.0%

<実績：成人歯科健診>

区分		成人歯科健診	対象者数の考え方
令和6年度	対象者数	19,490 人	20 歳, 30 歳, 40 歳, 50 歳, 60 歳, 70 歳の市民
	受診者数	880 人	
	集団		
	個別	880 人	
	受診率	4.5%	
令和5年度	対象者数	14,453 人	
	受診者数	660 人	
	集団		
	個別	660 人	
	受診率	4.6%	

<実績（6年度）：成人歯科健康診査 結果>

区分		20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	計
受診者	個 別	111 人	133 人	164 人	164 人	152 人	156 人	880 人
結果	異常を認めない者	11 人	7 人	10 人	15 人	7 人	15 人	65 人
	要指導者	31 人	24 人	28 人	32 人	32 人	31 人	178 人
	要精密検査者	69 人	102 人	126 人	117 人	113 人	110 人	637 人

<実績：40～69 歳の国保被保険者（胃がん：50～69 歳，子宮頸がん：20～69 歳）>

区分		肺がん	胃がん	大腸がん	乳がん (マンモグラフィ)	子宮頸がん (細胞診)
6 年度	対象者数	24,495 人	19,148 人	24,495 人	12,579 人	16,038 人
	受診者数	4,426 人	1,464 人	3,804 人	1,322 人	1,105 人
	受診率	18.1%	7.6%	15.5%	10.5%	6.9%
5 年度	対象者数	25,871 人	19,982 人	25,871 人	13,316 人	16,921 人
	受診者数	4,042 人	1,392 人	3,524 人	1,274 人	1,040 人
	受診率	15.6%	7.0%	13.6%	9.6%	6.1%

※地域保健・健康増進事業報告より（ただし令和6年度は速報値）

【「実績：40～69 歳の国保被保険者」に係る補足】

- ① 対象者数は，対象年齢に該当する国保被保険者（上限年齢は69歳）
- ② 受診者数
 - ◆ 肺・大腸がん…当該年度の受診者数
 - ◆ 胃・乳・子宮頸がん（2年に1回行うがん検診）
…当該年度の受診者数＋前年度の受診者数－2年連続受診者数

(6) がん検診推進事業

<内容>

検診無料対象者に対し，検診手帳及び子宮頸がん検診・乳がん検診（マンモグラフィ検査）の無料クーポン券または無料ハガキを交付する。

<実績（6年度）：交付人数>

区分		交付人数	無料クーポン券等による受診者数	
			受診者数	受診率
子宮頸がん	21 歳	1,207 人	81 人	6.7%
	31 歳	1,275 人	261 人	20.5%
乳がん	41 歳	1,692 人	357 人	21.1%
	51 歳	2,175 人	435 人	20.0%
胃がん		4,441 人	409 人	9.2%
大腸がん		3,437 人	320 人	9.3%
肺がん		3,437 人	314 人	9.1%

<実績：がん検診未受診者勧奨>

区分	実績（受診勧奨者数）						
	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん		子宮がん	
6年度	51歳	41歳	41歳	41歳	51歳	21歳	31歳
	655人	417人	417人	417人	655人	1,145人	1,163人

茨城県がん検診推進強化月間に合わせ、国保被保険者のがん検診無料対象者で検診未受診の者に宛ててハガキを郵送した。

<実績：がん検診精密検査者受診勧奨(電話)>

区分	実績						
		胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	前立腺がん
6年度	239件	14件	16件	133件	12件	18件	46件
5年度	217件	11件	28件	110件	3件	14件	51件

(7) 訪問指導

<目的>

健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、身体機能の低下を防止すること及び健康の保持増進を図る。

<対象者>

40歳以上で、身体の状況、環境等を考慮し、療養上の保健指導が必要であると認められる者

<担当者>

保健師

<実績>

区分	訪問実件数	訪問延件数
6年度	40件	40件
5年度	16件	16件

(8) 腎臓を守ろう！みとネットワーク事業

<目的>

水戸市と水戸市医師会が連携協力し、検診等の結果から糖尿病の重症化リスクの高い者や腎機能の低下が確認された者に対し、受診勧奨等により早期に適切な医療につなげ、人工透析への移行を防止することによって、健康寿命の延伸と医療費の増加抑制を図る。

<担当者>

保健師

<受診勧奨方法>

通知、電話、戸別訪問、面接

<対象者>

国民健康保険特定健康診査（以下、「特定健診」という）の結果やレセプト情報等において下記の基準に該当する者

区分	対象者
糖尿病性腎症 重症化予防	①未治療者 特定健診（集団健診）においてHbA1c6.5以上の者 ②治療中断者 過去に糖尿病受療歴がある者で、直近1年間において糖尿病受療歴がない者 ③過去3年間程度の健診データにおいてHbA1c6.5以上が確認されているものの、直近1年間において健診受診歴や糖尿病受療歴がない者
慢性腎臓病予防	①eGFR60未満の者 ②尿蛋白（+）以上の者

<実績：糖尿病性腎症重症化予防>

区分		受診勧奨 対象者数 (※1)				
			受診者数	受診率	ハガキ 戻り数	ハガキ 戻り率
未治療者	6年度	103人	66人	64.1%	25通	24.3%
	5年度	114人	51人	44.7%	28通	24.6%
治療中断者 (※2)	6年度	170人	35人	20.6%	4通	2.4%
	5年度	242人	12人	5.0%	13通	5.4%

※1 令和6年度……令和7年5月時点

※2 治療中断者は前年度対象者で医療機関への受診が確認できない者も含む

<実績：慢性腎臓病予防（通知による受診勧奨）>

区分		※受診勧奨 対象者数	ハガキ 戻り数		レセプトでの 受診確認
				ハガキ 戻り率	
慢性 腎臓病予防	6年度	1,239 人	304 通	24.5%	
	5年度	1,117 人	317 通	28.4%	
重点 勧奨	6年度	144 人	38 通	26.4%	68 件
	5年度	—	—	—	—

※令和7年6月時点

2 国保保健事業関係

(1) 健康診査（特定健康診査・後期高齢者健康診査・人間ドック）

<目的>

糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防するため、「水戸市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画」に基づき、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び特定保健指導を実施する。

<対象者等>

区分	対象者	実施期間等	実施方法
特定健康診査	40歳～74歳の国保被保険者 (令和6年4月1日現在)	6月～2月(66回)	集団
		6月～2月	個別 (医療機関)
後期高齢者 健康診査	後期高齢者医療被保険者	6月～2月(66回)	集団
		6月～2月	個別 (医療機関)
人間ドック または 人間ドック +婦人科検診	40歳～74歳の国保被保険者のうち 補助金交付決定を受けた者	5月～3月 (実施医療機関による)	医療機関 9か所
	後期高齢者医療被保険者のうち補 助金交付決定を受けた者		
脳ドック	40歳～74歳の国保被保険者のうち 補助金交付決定を受けた者		医療機関 6か所

<実績（6年度）：特定健康診査・後期高齢者健康診査>

区分	特定健康診査	後期高齢者健康診査
対象者	35,574人	37,739人
受診者	11,312人	7,007人
集団	総合健診協会委託 5,738人	総合健診協会委託 2,210人
	農業従事者に係る健診 (水戸協同病院) 96人	農業従事者に係る健診 (水戸協同病院) 90人
	人間(脳)ドック受診 2,165人	人間ドック受診 925人
	個別 3,313人	3,782人
受診率	※ 34.0%	18.6%

※ 速報値（令和7年6月末現在）

（対象者から年度途中の資格喪失者及び厚生労働大臣が定める除外者を除くため、確定までは変動あり）

<実績（6年度）：人間ドック>

区分	国保被保険者	後期高齢者医療被保険者
人間ドック	1,183 人	680 人
人間ドック ＋ 婦人科検診	879 人	245 人
脳ドック	103 人	
合計	2,165 人	925 人

(2) 特定保健指導

<目的>

健康に関する問題を総合的に把握し、必要な指導を行い、心身機能の低下を防止すること及び健康の保持増進を図る。

<対象者>

国民健康保険の特定健診受診者のうち、積極的支援・動機づけ支援に該当する 40～74 歳の者

<担当者>

保健師，管理栄養士

<実績>

区分			対象者	指導実施
※ 6 年 度	積極的支援	初回面接及び評価	426 人	41 人
		初回面接のみ		57 人
		評価（3年度継続支援）のみ	30 人	13 人
	動機づけ支援	初回面接及び評価	1,052 人	191 人
		初回面接のみ		136 人
		評価（3年度継続支援）のみ	126 人	61 人
5 年 度	積極的支援	初回面接及び評価	472 人	3 人
		初回面接のみ		17 人
		評価（3年度継続支援）のみ	22 人	22 人
	動機づけ支援	初回面接及び評価	994 人	80 人
		初回面接のみ		66 人
		評価（3年度継続支援）のみ	53 人	51 人

※ 速報値（令和7年6月末現在）

令和6年度特定保健指導 終了者数：263 人

終了率：19.1%

(3) その他の保健事業

<目的>

水戸市国民健康保険データヘルス計画に基づき、水戸市国民健康保険被保険者の健康増進と将来的な医療費の適正化を図るため、特定健康診査の結果やレセプト（診療報酬明細書）等の健康・医療情報を活用し、データ分析に基づく保健事業を実施する。

<対象者等>

区分	対象者	実施期間	実施方法
未受診者受診勧奨	令和6年度の特定健診未受診者	令和6年 ①9月24日 ②10月22日	通知（ハガキ）での受診勧奨
健診異常値放置者受診勧奨	令和5年度健診結果から受診勧奨判定値を超えており医療機関受診が確認できない国保被保険者	令和6年7月～令和7年1月	医療機関への受診勧奨の通知，訪問にて受診勧奨
受診行動適正化指導	重複・頻回受診者	令和6年11月～令和7年1月	対象者に通知後，訪問等にて保健指導実施
特定保健指導未利用者勧奨	特定保健指導未利用者のうち，電話番号不明・不在・保留と回答した者	令和6年6月～令和7年3月	利用勧奨の通知、保健師の戸別訪問
治療中断者への受診勧奨	高血圧や脂質異常症で過去に治療を受けていたが，過去1年間受診が確認できない者	令和6年9月～令和7年1月	対象者に通知後，訪問にて受診勧奨実施
生活習慣病予防健診（早期介入） ※生活習慣病予防健診（P6）の再掲	18歳～39歳の国保被保険者	令和6年6月～令和7年3月	健診の実施及び健診結果が要指導・要精密検査の者に対する保健指導・受診勧奨の通知
生活習慣病重症化予防（糖尿病性腎症重症化予防）	集団健診で特定健診を受診し，HbA1cが高値で，医療機関受診が確認できない国保被保険者	健康増進事業として実施（糖尿病性腎症重症化予防事業）	

<実績（6年度）>

区分	実績	
未受診者受診勧奨	通知 17,400 通（9月 13,000 通, 11月 4,400 通）	
健診異常値放置者 受診勧奨	通知 329 人 電話 6 人 訪問 22 人	
受診行動適正化指導	通知 21 人 来所 1 人 電話 8 人 訪問 7 人	
特定保健指導未利用者 勧奨	通知 330 人 電話 10 人 訪問 63 人	
治療中断者への 受診勧奨	通知 29 人 電話 2 人 訪問 14 人	
生活習慣病予防健診 （早期介入）	健診受診者 （国保） 291 人	要指導者へ 保健指導の案内 110 人
		要精密検査者へ 医療機関受診勧奨通知 19 人
生活習慣病重症化予防 （糖尿病性腎症重症化予防）	糖尿病性腎症重症化予防事業実績（参照 P15）	

3 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施

(1) ハイリスクアプローチ

<目的>

加齢に伴う低栄養、筋力や口腔機能をはじめとする心身機能の低下、抵抗力低下といった後期高齢者の特性に応じた医療専門職による相談・指導等を実施し、後期高齢者の生活習慣病等の重症化予防や、心身機能の維持を図る。

<担当者>

保健師、歯科衛生士等

<対象者>

区分		対象者	実施方法
生活習慣病重症化予防		令和6年度健診結果で、Ⅱ度高血圧以上(集団健診)又はⅢ度高血圧以上(医療機関健診)又は心房細動(集団健診)の所見があり、循環器疾患で受診が確認できない者	・医療機関への受診勧奨の通知の郵送 ・訪問や電話などによる保健指導および評価の実施
糖尿病性腎症重症化予防	高血糖	令和6年度健診結果で、HbA1c7.0以上で糖尿病での受診が確認できない75歳～84歳の者	・医療機関への受診勧奨の通知の郵送 ・訪問や電話などによる保健指導および評価の実施
	治療中断	令和3年度から令和5年度に糖尿病薬剤の処方があり、直近1年間に糖尿病にて治療のない75歳～84歳の者	・医療機関への受診勧奨の通知の郵送 ・訪問や電話などによる保健指導および評価の実施
口腔機能低下予防		高齢者の質問票の④咀嚼機能、⑤嚥下機能の両方に該当した75歳～84歳の者	・歯科保健指導の案内通知の郵送 ・訪問や電話などによる口腔機能測定および保健指導、評価の実施
健康状態不明者		過去2年間、健診や医療機関の受診が確認できない75歳～84歳の独居の者	地域支援センター職員との同行訪問による状態確認

※ 該当者のうち優先順位の高い者に実施。ただし、要介護認定者は除く。

<実績（6年度）>

区分		実績	
		通知	介入した人数
生活習慣病重症化予防		99 人	96 人
糖尿病性腎症 重症化予防	高血糖	17 人	17 人
	治療 中断	13 人	10 人
口腔機能低下予防		72 人	72 人
健康状態不明者		147 人	78 人

4 寄附講座開設における地域保健事業

寄附講座による筑波大学との連携によって、健康相談、健康教育等を実施し、地域保健活動の充実に努める。

(1) 健康相談

<目的>

市民が安心して医療が受けられるよう、医師による健康相談を実施する。

<担当者>

筑波大学 総合診療医

<会場>

保健所

<実績>

区分	実施回数	相談者
6年度	11回	40人

(2) 健康教室

<目的>

市民の健康寿命の延伸のため、健康教育を実施する。

<担当者>

筑波大学 総合診療医、管理栄養士、保健師

<会場>

保健所、市役所

<対象者>

市内に居住する方

<回数>

4回

<実績（6年度）>

区分	上手な病院のかかり方	COPD（慢性閉塞性肺疾患）予防教室	脂質異常症予防教室	肥満予防教室
内容	・医師による講話		・医師による講話 ・管理栄養士による講話	
参加人数	16人	41人	24人	25人

(3) 出張講座

<目的>

小中学生から幅広く対象を設定し、より多くの市民に「がん予防」「生活習慣病予防」の普及・啓発を行う。

<担当者>

筑波大学 総合診療医

<回数>

4回

<内容>

医師の講話

<実績（6年度）>

区分	がん予防教育	健康づくり セミナー	がん予防教室	生活習慣病 予防教室
対象者	5・6年生の児童 とその保護者	・協会けんぽ加入者 ・市内在住・在勤の方	保健推進員	食生活改善推進員
会場	新荘小学校	総合教育研究所	上大野 市民センター	赤塚 市民センター
参加人数	53人	70人	44人	29人

(4) 健康調査

<目的>

地域保健に関する研究・提言

<担当者>

筑波大学 総合診療医

<内容>

「かかりつけ医機能」ニーズとその医療的インパクトに関する研究に係るアンケート調査

<対象者>

3,000名

※ 65歳以上の要介護認定を受けていない者（無作為抽出）

5 地区組織活動

(1) 保健推進員活動

<目的>

市民と保健行政のパイプ役として地域住民の健康づくりの推進を図る。

<内容>

保健推進員に対する研修会の実施

保健推進員連絡協議会に次の業務を委託

区分	業務内容
成人・高齢者に対する 保健事業の推進	・各種健(検)診，健康相談，健康教室等の勧奨，周知活動 ・健康状態の把握や相談 ・特定健康診査会場における支援
妊産婦・乳幼児に 対する保健事業の推進	・妊産婦・乳幼児健診，育児相談，幼児歯科相談，育児教室等の勧奨，周知活動 ・母子の健康状態及び育児状況の把握や相談
その他健康づくりに 関すること	・地域の行事（市民センター，社会福祉協議会，住民の会等主催）への協力

<実績：保健推進員数及び研修会等>

区分	推進員数	研修会の実施回数	
		合同研修会	視察研修
6年度	235 人	2 回	1 回
5年度	242 人	2 回	1 回

<実績：委託事業>

区分	成人・高齢者の 保健事業の推進	妊産婦・乳幼児の 保健事業の推進	その他 (定例会，地域行事等)
6年度	25,318 件	1,524 件	492 件
5年度	18,135 件	1,396 件	588 件

(2) 食生活改善推進員活動

<目的>

食生活改善推進員養成講習を修了した者が、食生活改善の普及啓発や食育活動等をととして地域住民の健康づくりの推進を図る。

<内容>

食生活改善推進員に対する研修会の実施

食生活改善推進員会に次の業務を委託

区分	業務内容
子どもの健康・食生活に関する業務	・調理実習（親と子の料理教室） ・食育活動（1歳6か月児健診・3歳児健診における食育リーフレットの配布）
若者・働き世代の健康・食生活に関する業務	・調理実習（健康料理教室） ・食事バランスガイドの普及
高齢者の健康・食生活に関する業務	・調理実習（健康料理） ・食事バランスガイドの普及 ・市民センター及び社会福祉協議会が主催する高齢者向け健康教室への協力（シルバークッキング教室等） ・社会福祉協議会事業への協力（ひとり暮らし高齢者食事会、宅配サービス）
その他の業務	・納豆料理の普及（料理教室，試食会） ・市民センター主催事業等への協力（女性学級，市民センターまつり等）

<実績：食生活改善推進員数及び研修会等>

区分	推進員数	研修会の実施回数	
		研修会	視察研修
6年度	256人	14回	2回
5年度	264人	14回	2回

<実績：委託事業等>

区分	子どもの健康・食生活	若者・働き世代の健康・食生活	高齢者の健康・食生活	その他	計
6年度	6,993件	3,468件	7,707件	12,730件	30,898件
5年度	6,637件	2,075件	4,747件	11,495件	24,954件

6 特定給食施設関係

喫食者の健康増進を推進するために、給食施設に栄養指導及び助言を行い、適正な栄養管理を図る。

(1) 特定給食施設、その他の給食施設

＜内容＞

健康増進法施行規則第5条に規定する「特定給食施設」、水戸市特定給食施設等指導要項による「その他の給食施設」

・ 特定給食施設

特定かつ多数の者に対して、継続的に1回100食以上又は、1日250食以上の食事を供給する施設

・ その他の給食施設

1回50食以上の食事を供給する施設

＜実績＞

区分	特定給食施設	その他の給食施設	合計
6年度	119件	90件	209件
5年度	119件	90件	209件

(2) 特定給食施設開始届及び廃止届

＜内容＞

健康増進法に基づき、特定給食施設開始届等を受理する。

＜実績＞

区分	開始届件数		廃止届件数	
	特定給食施設	その他の給食施設	特定給食施設	その他の給食施設
6年度	1件	1件	1件	1件
5年度	4件	0件	1件	1件

(3) 特定給食施設状況報告書

＜内容＞

給食施設の設置者により、年1回状況報告書を収受する。

＜施設種別＞

学校、病院、介護老人保健施設、介護医療院、老人福祉施設、児童福祉施設、社会福祉施設、事業所、寄宿舎、矯正施設、自衛隊、一般給食センター、その他

＜実績＞

令和6年度207件、令和5年度208件

7 食品表示

(1) 食品表示

<目的>

食品表示の適正化を図り，市民の健康の保持増進に寄与する。

<内容>

栄養成分表示について，事業者からの相談に対応し，食品表示法に基づき指導する。

<実績>

区分	相談件数
6年度	1件
5年度	9件

(2) 虚偽誇大広告

<目的>

健康増進法に基づき，食品として販売に供する物に関して行う虚偽誇大広告等の禁止及び広告等適正化のための監視指導等を行う。

<内容>

事業者からの事前相談や，消費者からの通報に対応する。

<実績>

区分	積極監視	薬事担当・ 他自治体か らの通報	消費者から の通報	広告媒体者 からの事前 相談	製造者・販 売者等から の事前相談
6年度	0件	0件	0件	0件	0件
5年度	0件	0件	0件	0件	0件

Ⅲ 精神保健相談係

1 精神保健支援事業

(1) こころの健康相談

<目的>

こころの健康に関する不安や悩みがある方に関して電話，面接，訪問等で相談・助言を行う。

<内容>

電話や面接，訪問による相談

<担当者>

保健師，精神保健福祉士，社会福祉士

<実績>

区分	電話相談等		面接相談		訪問指導		計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
6年度	504人	5,575人	137人	366人	161人	750人	802人	6,691人
5年度	358人	3,592人	89人	237人	103人	436人	550人	4,265人

(2) 精神保健相談

<目的>

精神保健に課題を抱える方や家族等からの相談を受け，早期治療や生活指導，社会復帰の促進を図るための支援を行う。

<内容>

精神科医師による面接相談（月1回）

<実績>

区分	相談人数
6年度	14人
5年度	9人

2 ひきこもり支援推進事業

(1) ひきこもり専門相談

<目的>

ひきこもり状態にある方や家族等からの相談を受け，適切な対応等について相談・助言を行う。

<内容>

精神科医師による面接相談（月1回）

<実績>

区分	相談人数
6年度	7人
5年度	9人

(2) ひきこもり家族教室

<目的>

ひきこもりに関する正しい知識と対応方法についての普及啓発を行い、家族等が適切な対応ができるように支援し、家族同士の仲間づくり、情報交換等により、家族の精神的な負担軽減を図る。

<内容>

ひきこもりに関することについて勉強会や家族同士のミーティング等を実施(月1回)

<実績>

区分	実施回数	参加実人数	参加延人数
6年度	12回	19人	105人
5年度	12回	17人	114人

(3) CRAFT教室(ひきこもりの家族支援プログラム)

<目的>

ひきこもりの家族支援プログラムを提供することで、家族の負担軽減、家族関係の改善、当事者の相談機関の利用を促進する。

<内容>

家族に対して、コミュニケーションや問題解決のプログラムを実施(計8回)

<実績>

区分	実施回数	参加実人数	参加家族数
6年度	8回	4人	4組
5年度	8回	4人	3組

(4) ひきこもり居場所

<目的>

ひきこもり当事者の自立及び社会参加を目的として、自宅以外で過ごす場所を設置、社会復帰を支援する。

<内容>

参加者同士で散歩やゲーム等のプログラムを行う(月2回)

<実績>

区分	実施回数	参加実人数	参加延人数
6年度	24回	5人	61人
5年度	24回	5人	65人

3 自殺対策事業

(1) こころの健康相談

ア 公認心理師

<目的>

こころの悩みを抱えた本人や家族に対して相談を受け、自殺予防につなげていく。

<内容>

公認心理師による面接相談（月 2 回）

イ 精神保健福祉士

<目的>

消費者トラブルや多重債務などに起因する悩みを抱えた方に対して相談を受ける。

<内容>

消費生活センターにて精神保健福祉士による面接相談（月 1 回）

<実績>

区分	相談人数	
	公認心理師	精神保健福祉士
6 年度	18 人	6 人
5 年度	10 人	9 人

(2) ゲートキーパー養成研修

<目的>

自殺の危険性が高い人に対して、早期発見、早期対応を適切に行うことができる人材等を養成する。

<内容>

ゲートキーパーの役割や心得などの基礎知識を学ぶ研修を実施する。

<実績>

区分	参加人数				合計
	市職員	保健推進員	民生委員	介護支援専門員	
6 年度	41 人	－	50 人	104 人	195 人
5 年度	30 人	39 人	48 人	－	117 人

参加人数累計 (平成 22 年度～)
1,368 人